

2017年6月9日

## 課題発見ゼミへの期待 眞弓クラス

1)

眞弓先生のクラスを選択する理由は、統計学の基礎を学習することができるからだ。統計学は、客観的な根拠を示すために身につける必要があり、論理的思考力の養成にも不可欠である。

また、自分にとってその授業が必要である理由は、数学的な考え方を身につけることができるからだ。自分は、数学的な考え方をする能力に欠けているので、苦手を克服する必要がある。

私は、眞弓先生の授業を受講しているが、論理的思考力を身につけることが重要だとおっしゃっているので、課題発見ゼミナールにおいても、トレーニングになることを期待する。以上の理由から、眞弓先生のクラスを受講することが必須である。

2)

統計学は、私が大学で学びたい心理学や、就職後のデータ処理などに役に立つはずである。また、統計的にデータを出すことで、数値として見るができるため、客観的な視点が養われるから。

3)

私は眞弓先生の授業(資源と環境のはなし)を受講しているが、受講してみて、自分の論理的思考力の弱さが分かった。昔から数学が苦手な嫌だったが、自分は文系だから必要ないだろうと理解しようとせずに避けていた節があり、そのまま大学生になった。大学ではレポートやディスカッションなど論理的思考力を要する場面が多く、自分の考えを組み立てて形にすることに苦労する。他のクラスでも論理的思考力を身に着けることはできるだろうが、普段つかわない、慣れない側面からの考え方を身に着けたいと思ったのでこのクラスを選択したい。また、基本的な部分から学ぶようであるので、数学が苦手な私でもきちんと理解しようとすればついていけるだろうと考えた。

4)

私は眞弓先生が担当される、Eクラスを希望する。私は将来心理士になりたいと思っている。心理学では実験を重ね、データを取り、そこから結論を導いて行く。心理学は統計学

に似たことを活用しているのだ。将来の進路を考えると、今、統計学を学ぶ必要がある。

また、「統計学は最強の学問だ」という言葉があるように、統計学は様々な場面で活用できる。活躍の幅が広がる。

このことから、統計学を学ぶことが必要であるため、真弓先生のクラスを希望した。

5)

世の中には、世論調査や社会や経済の実態を捉えるために行われるような消費者物価指数、家計調査、工業統計調査のように、非常に多くの場面で統計データが用いられている。その中には、政府や企業が恣意的に操作されたデータも含まれている。すべての統計データを鵜呑みにしてしまうと、不利益を被る可能性もある。多くのデータが出回る中で、情報を受け取る側が適切に情報を判断する能力が必要だ。一方で、適切に統計的データを用いることで、必要な政策や消費の動向、市場のニーズに応えることができる。このように現代の社会にとって、統計的なデータを適切に活用することが重要であると考え、このクラスを希望する。

## 複数を選択

### +内藤

社会科学とは、一つの事実に対して異なる合理的な結論があるか。しかし、これは事実が間違いない限りことである。存在しない事実の上で、正しい結論を得られない。統計学とフィールドワークは社会科学に対して事実の正しさを証明する方法だと思う。そのために、このクラスを選択した。

### +佐藤（健）

今回の授業では後期の課題発見ゼミナールの履修について、各クラスの説明を聞いた。現時点で、私は真弓先生のクラスと佐藤(健)先生のクラスを選択したいと考えている。真弓先生のクラスでは統計的データを解釈し、それを確率論に基づいて考察出来る能力を身に付けることが目標だ。統計学はどの分野においても根拠としておおいに役立つ。また私は公共政策コースを志望しているため、遅かれ早かれ学んでおいて無駄にならない知識だか

らだ。

そして、佐藤(健)先生のクラスでは臨床心理学や健康心理学、社会心理学に関する身の回りの社会的課題を中心にプレゼンや議論を行い、現状を知ることが目標である。医療との結びつきが強い徳島大学に入ることが出来たのだから、私は新しい医療関連のビジネスを行いたい。そのために現状把握、また未来を見据えて動いていきたい。

この授業は大きな機会だ。来年度のコース選択のきっかけにもなるし、深い知識を学ぶことも出来る。そのために研究室に行き、先生に詳しく課題について聞き、より自分に必要な知識が得られるような選択を行いたい。

#### **+上原+衣川**

論理的な思考を身に着け、自分で統計データを解釈できるようになりたい。自分の目標の経済学関係の仕事に役立てると考えたから。数学はあまり得意ではないので理解しやすい授業を期待している。第二、第三希望も論理的な思考を養えると思って希望した。

私が後期の課題発見ゼミナールで取りたい授業は、上原先生、衣川先生、真弓先生のクラスである。まず、上原先生クラスの原因を述べる。私は、2年生で公共政策コースを希望している。さらに、法律や裁判や法律に興味があり、将来裁判所で働くことも考えているので、事前学習をして知識を得たいからである。次に、衣川先生のクラスの原因として、現在一般教養科目で歴史の授業をとっていないので、率直に日本の歴史について学びたいと思ったからである。また、高校の時は日本史をとっていたので、その知識と結びつけて勉強でき、2年生以降で公共政策コースに入ったら文学や歴史を勉強できる機会が減ると思ったので1年生のうちに学んでおきたいと思うからである。さらに、グループワークを通して、コミュニケーション能力などを高めたいと思ったからである。最後に、真弓先生の授業の原因を述べる。将来公務員として働くことを希望していて、市役所や県庁で働くことになった時、統計データを用いることが多いと覆うので、大学生活の中で統計の知識を深めたいからである。また、自分の主観的な考えだけでなく、客観的データを用いて判断する能力を身に付けたいと考えているからである。

期待する授業については、まだ、同級生で話したことの無い人面識のない人がたくさんいるので、少しでも多くの人と交流できたらいいと思う。

#### **+上原+吉田+内藤**

私は今、上原クラスと内藤クラスと眞弓クラスと吉田クラスの全部で 4 つのクラスを考えている。まず上原クラスと眞弓クラスを考えている理由で共通の理由は、私は 2 年次からのコース選択に公共政策コースを考えており、将来的にも公務員になることを第 1 希望にしているからだ。また上原クラスは基本的人権について学習を進めていき、もしかしたら裁判の傍聴ができるかもしれないからだ。現在日本では裁判員制度が導入されており、誰もが裁判員に選ばれる可能性があるから裁判について前もって知っておくべきだからだ。次に眞弓クラスは、主に統計学について授業を進める予定で、統計学も公務員試験に出題されるからだ。次に内藤クラスと吉田クラスを考えている理由で共通の理由は、どちらも実際にフィールドワークをすることで徳島県が抱えている問題や魅力について知ることができるからだ。私は地元をもっと活性化させたいという思いがあるので、実際に自分で経験したことを元に地元でも生かしていきたいからだ。さらに吉田クラスでは自分たちでファーマーズマーケットをデザインして成功することで自信をつけたり、実際に仕入れや販売を経験することでコミュニケーション能力が向上したりすることに私は期待している。そしてどの授業においても積極性やプレゼン能力の向上などについて期待している。